

## 令和6年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	あおき かずと		
氏名	青木 和人		
所属・役職	福井県立大学 地域経済研究所 教授 オープンデータ実践会 代表 Code for 山城 代表		
活動拠点	北陸		
略歴	<p>京都府宇治市役所 勤務 立命館大学歴史都市防災研究所 客員研究員 宇治市教育委員会 西宇治図書館 館長 立命館大学大学院 公務研究科 非常勤講師 あおき地理情報システム研究所 代表 オープンデータ実践会 代表 Code for 山城 代表 京都府立大学公共政策学部 非常勤講師 鈴鹿大学短期大学部生活コミュニケーション学科こども学専攻 准教授</p>		
地域情報化の 専門分野・技術	DX, GIS, オープンデータ、ウィキペディアタウン、デジタルアーカイブ、EBPM		
専門分野	<p>オープンデータ EBPM (エビデンスに基づく政策立案) AI活用 生成AI活用 計画策定支援 (地域情報化計画・官民データ計画・自治体DX推進計画等) 人材 (DX推進のための機運の醸成) 人材 (DXに関する知識習得・研修・育成) 人材 (外部人材活用) 自治体システムの標準化・共通化 行政手続オンライン化 自治体セキュリティ 自治体システム調達/地域情報プラットフォーム ネットワークインフラ (Wi-Fi/LPWA/光ネットワーク) デジタルデバイド対策 防災 教育情報化/情報教育 デジタルアーカイブ/図書館 働き方地域ビジネス スタートアップ支援 (起業支援) 観光 スマートシティ ICT 活用広報 その他</p>		
自治体向けメッセージ	DX で仕事は楽に！地域は元気に！をお手伝いします。		
関連サイト	<a href="https://researchmap.jp/KazutoAOKI">https://researchmap.jp/KazutoAOKI</a>		
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<p>国土交通省 国土政策局：「防災業務におけるGIS高度活用人材育成プログラム」教材作成、講師、委員。 平成24年度 国土交通省 国土政策局：「福祉業務におけるGIS高度活用人材育成プログラム」教材作成、講師、委員。</p>	

<p>これまで に 関 与 し た 地 域 情 報 化 に 関 する プ ロ ジ ェ ク ト</p>	<p>地理情報システム学会 東北地方太平洋沖地震緊急地図作成チーム (EMT = Emergency Mapping Team) 活動. 2011年9月まで</p> <p>Facebook 自治体GIS活用推進グループ(行政でのGIS利用に関する意見交流の場) 管理者. 現在に至る</p> <p>内閣府認証NPO 法人GIS総合研究所 自治行政情報懇話会 運営委員. 2014年3月まで FOSS4G(Free Open Source Software for Geospatial)ドキュメント日本語翻訳プロジェクト活動 チームリーダー. 現在に至る</p> <p>Osgeo (The Open Source Geospatial Foundation) 財団 日本支部 運営委員. (FOSS4G Kansai 運営活動、QGIS3.0 Hackfest Kansai 運営活動) 現在に至る</p> <p>自治体オープンデータ推進協議会(関西会議)事務局 (第1~8回自治体オープンデータ推進協議会(関西会議)主催) 現在に至る</p> <p>オープンデータ京都実践会 (市民参加型オープンデータ事業 ウィキペディアタウン&amp; OpenStreetMap 主催) 2020年3月まで</p> <p>Code for 山城(平成26~令和4年度京都府地域力再生事業交付金事業 ウィキペディアタウン 主催) 現在に至る</p> <p>京都大学防災研究所 社会防災研究部門:平成28年度 地先の安全度マップ更新のための堤内地水路データ・非構造格子属性(標高、空隙率、透過率、粗度係数)データ作成・評価業務受託 2018年3月まで</p> <p>京都大学防災研究所 社会防災研究部門:平成29年度 地先の安全度マップ更新のための堤内地水路データ・非構造格子属性(標高、空隙率、透過率、粗度係数)データ作成・評価業務受託 2019年3月まで</p> <p>京都大学防災研究所 社会防災研究部門:平成31年度 地先の安全度マップ更新のための排水区データ・構造格子属性(標高、空隙率、透過率、粗度係数)データ作成・評価業務受託 2020年3月まで”</p>
--	---